■令和８年 11 月２日号（第 2000 号）

・港湾協会ら主催　港づくり全国大会開催＝港湾の整備・振興要望採択

・自民党港議連　港湾整備・振興を緊急決議＝９年度予算確保へ財務省要望

・港湾局・海事局　クルーズ等訪日旅客受入＝８年度第３回公募開始

・みなとの博物館だより（第 37 回）小樽港湾事務所「みなとの資料コーナー」

・茨城港　常陸那珂港中央ふ頭地区＝水深 14m岸壁基礎・裏込工

・千葉港　千葉中央地区水深９ｍ岸壁＝洗掘防止の地盤改良工事

・青森空港　第２回長期構想検討委＝方針の新規追加項目を議論

・抜海漁港　船揚場で砂の飛散抑制＝ハマニンニクの植栽活動

・清水港湾事務所　妻良漁港で物資輸送訓練＝港湾業務艇「まさき」を活用

・青森港　新中央ふ頭の利活用＝公募型サウンディング実施

・金沢港湾事務所　小学生がみなと見学＝業務艇「わかなⅡ」乗船

・釧路港　東港区水深９ｍ泊地浚渫＝あおみＪＶが６億円で契約

・全国港湾知事協議会　府県知事の港湾関係要望　新潟、静岡、三重、富山、石川

・八代港　本格復旧へ３件工事手続き＝ＣＴ岸壁は仮設ドルフィンも

・熊本県地港審　八代港の一部変更等審議＝コンテナＴを耐震施設に位置付

・九州地整　サーキュラーエコノミーポート＝三池港、北九州港に選定証

・石垣港　防波堤（外）の延伸工促進＝土砂処分場埋立工は完了へ

・全国港湾知事協議会　府県知事の港湾関係要望　鹿児島、熊本、和歌山、山口

・鹿児島港　本港区ＷＦパークエリア＝サウンディング調査実施へ

・西之表港湾慈雨所　地元小学生が名瀬港見学＝港の仕事の大切さ学ぶ

・日港連　港湾局、航空局に要望書手交＝適正利潤、設計変更、作業船

・下関港東京セミナー開催　前田市長がプレゼン＝「ポート・オブ・ザ・イヤー投票を」

・第 118 回日港連セミナー＝睡眠の仕組み、笑いで元気に

・ＭＥＭＰＨＩＳ会　都内で第 31 回講演会開催＝港湾施設の維持管理の取組等

・鹿島港湾　不法侵入防止パトロール＝外港地区の中央防波堤

・深田サルベージ建設　起重機船「霧島」が就航＝850ｔ吊、九州海上工事で活躍へ

・ＲＳＯ登録技術⑦　みらい建設工業　タンク＆プラグ混合処理工法（Ｔ＆Ｐ工法）

・横浜港　環境配慮船舶の寄港促進＝入港料減免基準見直し

・笹川記念財団ら　衛星ＶＤＥＳワークショップ＝11 月 10 日開催

■令和８年 10 月 26 日号（第 1999 号）

・全国港湾知事協　８年度意見交換会を開催＝港湾の整備・振興を要望

・港湾局　衛星三次元測位の実用化＝第１回検討会を開催し議論

・九州地整　八代港コンテナＴ暫定供用＝予定より２週間早く復旧へ

・みなとの博物館だより（第 36 回）人道の港 敦賀ムゼウム

・福島県　小名浜港長期構想を策定＝洋上風力の係留施設等
・名古屋港　飛島ふ頭水深 15m東岸壁＝既設桟橋撤去でＷＴＯ２件
・東京港　中防外Ｙ３コンテナＴ＝13、14 基目ジャケット据付
・国交省　能登半島地震の復旧見通し＝８年度末に港湾復旧完了へ
・東京空港事務所　羽田空港見学会を開催＝報道記者に施設など公開
・北陸地整　官民若手技術者発表会＝鋼管杭考察等で優秀賞２人
・千葉港　ポートセミナー開催＝整備事業説明と企業講演
・富山県　海王丸パーク周辺エリア＝サウンディング調査実施
・名古屋港　弥富ふ頭ボートパーク＝桟橋整備で放置艇収容
・苫小牧港　国際ＣＴ運営検討会＝効率的運営に向けて協議
・東京港オフピーク輸送＝23 社参加し実証へ
・全国港湾知事協　府県知事の港湾関係要望㊦＝ふ頭機能強化や防災事業等
・岩国臨港道路　Ⅲ期区間の橋梁修正設計＝３工区の数量計算、実施設計
・九州地整　大分港大在ＣＴのＣＮＰ＝貿易センター、県に認証書交付
・那覇港　新港ふ頭水深 10m岸壁床掘等＝石垣港から捨石 7000 立方m
・平良港　下崎北防波堤改良工事＝東亜ＪＶが 6.3 億円で落札
・三島川之江港　金子地区磁気探査（その２）＝潜水探査結果踏まえ実施へ
・徳島小松島港　生物共生型みなとづくり＝基盤や潜堤による試験工開始
・広島技調　８年度民間技術説明会＝５技術の工法や特徴を説明
・小樽港　ザ・シンポジウムみなと＝防波堤の重文指定、更なる賑わい創出
・国総研　東京湾シンポジウム＝多様な分野の取組を共有
・ＪＢＥ　Ｊブルークレジット認証＝８年度第１回、６プロジェクト 132ｔ
・東洋建設ら　炭素循環モデル実証開始へ＝衣浦最終処分場で中和固化等
・ＲＳＯ登録技術⑥　「回転式破砕混合工法」（日本国土開発㈱）
・阪神国際港湾　宮崎県重要港湾と連携＝ブルーアライアンス締結
・洋上風力　セントラル調査区域決定＝和歌山県沖東側、いちき串木野市沖、檜山沖は追加調査
・東京ガス　浮体式洋上風力ＡｉＰ取得、15MW級対応、早期社会実装へ
・秋田県ら　デンマーク港と覚書締結＝洋上風力、港湾開発など

■令和 8 年 10 月 19 日号（第 1998 号）
・埋浚協会　関東地整局と意見交換＝適正工期、積算基準、海土協等
・港湾局　繋離船作業の安全検討＝対策や港湾での取組を議論
・国交省　広域・地域支援ふ頭を初指定＝静岡県の海上支援ＮＷ
・港湾局　ＣＮＰ認証を海外展開＝国際版ガイドライン発行
・あだちまさしの目（第 10 回）～社会インフラの機能低下と経済損失～

・関東地整　有本部長就任インタビュー＝国際競争力強化、防災減災
・四日市港　財務相と港湾局長に要望＝霞ヶ浦北ふ頭と海岸整備
・北陸地整　第２回事業評価監視委開催＝輪島港輪島崎地区防波堤等
・青森県　青森港改訂計画案を審議＝沖館バルクターミナル再編等
・千葉県　千葉みなと活性化検討＝初会合で方向性議論
・横須賀港　新港地区の新規ふ頭計画＝水深 12m岸壁等予備設計
・姫川港　命のみなとネットワーク＝協議会設立後の初訓練
・函館港　大規模地震・津波防災訓練＝北開局、市、関係機関・団体が連携
・魚津港　命のみなとＮＷ防災訓練＝初の施設健全性確認
・八代港外港地区　検討委が復旧設計方針策定＝２年以内の復旧完了目指す
・八代港復旧　施工法検討業務手続き＝基本設計公示中の係留施設
・北九州港　新門司南岸壁築造工手続き＝消波ブロック撤去、仮設工
・博多港　博多港を核に地域活性化＝賑わい空間創出へプロポ
・小宝島港　被災した防波堤を改良＝防災・減災推進費 4.4 億円
・京都舞鶴港　大野辺緑地の社会実験＝事業者決定、関連行事も
・大阪港　鶴浜緑地の計画を認定＝防災・スポーツ・緑地公園
・ＳＣＯＰＥ　日本大学で寄付講座開講＝「挑戦する海洋技術者たち」
・ＳＣＯＰＥ　松良官房審議官が講演＝国土強靭化の取組と課題
・国交省・港湾関係団体　ＪＩＣＡ研修員を歓迎＝港湾維持管理計画コース
・ＳＣＯＰＥ・ＪＲＡＮＳＡ　ＪＩＣＡ研修員を歓迎＝空港・航空分野 23 人
・埋浚協会　８年度港湾技術報告会＝レアアース特別講演も
・港湾統計速報（主要６港、８年７月）
・みなとの博物館だより（35）七尾フィッシャーマンズワーフ能登食祭市場

■令和 8 年 10 月 12 日号（第 1997 号）
・埋浚協会　地整局と意見交換会開始＝現場実態に合った適切発注を要望
・港湾局　自動化・遠隔化荷役機械＝円滑な導入へガイドライン
・港湾局　ＣＴゲート高度化を支援＝苫小牧港、東京港、横浜港
・みなと総研　第 17 回クルーズサロン＝「台湾のクルーズ事情」
・みなと総研　全国海の再生ブルーインフラ賞＝11 月 20 日まで募集中
・みなとＳＤＧｓパートナー＝新規に２者登録
・みなとの博物館だより（第 34 回）日本郵船歴史博物館・日本郵船氷川丸
・両津港　湊地区の南ふ頭４号岸壁＝耐震改良で桟橋部細部設計
・仙台塩釜港　雲雀野地区防波堤（南）＝９年度実施設計へ水準測量
・三河港　神野地区４号岸壁第１Ｂ＝予防保全で初弾地盤改良工
・川崎港　白石町護岸の改良工事＝矢板工、上部工発注手続き

・北陸地整・埋浚協会北陸支部　能登港湾・空港災害復旧工事＝大学生ら対象に現地見学会
・東北地整　サーキュラーエコノミーポート＝管内９港に選定証を手交
・石狩湾新港　新外貿定期Ｃ航路を開設＝初寄港船に記念品を贈呈
・新潟港東港に新物流施設＝大和ハウス工業、港湾・空港利用で拠点化へ
・苫小牧港　国際ＣＴで新システム開始＝搬出入予約ポータルサイト
・東北みなとオアシス　フォトコンテスト＝10 月末まで作品受付
・名古屋港管理組合　歴史資源特別見学会＝船見閘門や 10 号地灯台等（11 月 15 日開催）
・名古屋港管理組合　最新版パンフと要覧＝ＨＰでも閲覧可能
・広島港　将来の土砂処分場候補検討＝廿日市の約 19ha で設計業務
・大阪港　此花地区の事業課検証調査＝概算費用の算出や全体工程
・大阪港　阪南沖で深浅測量業務＝音響測深Ｓで海底地形調査
・大阪港・空事務所　深日港で海上輸送訓練＝府、町、市と命のみなとＮＷ
・沖総局　総合評価方式を見直し＝地元企業の参入機会拡大
・近畿地整　舞鶴、姫路のサーキュラーＰ＝石原副局長が選定証を手交
・中国地整ら　海上輸送ガイドライン更新＝管内定期航路就航状況など
・港湾空港技術特別講演会 in 近畿２０２６＝10 月 30 日オンライン開催
・ＳＣＯＰＥ視察会　名古屋港、衣浦港の現況探る＝ＪＥＲＡアンモニア混焼施設等
・東洋建設　鳴尾研究所 50 周年講演会＝伝統と信頼基に更なる挑戦へ
・海事局　造船業再生基金で初認定＝足立局長「民間投資を誘発できた」
・港空研　ＯＣＥＡＮＳ２０２６で発表＝松本領域長らの「ＡＩＭＳ」
・ＪＷＰＡ　風力エネルギー学会と協定＝産学連携で次世代人材育成
・白海　下関港で浚渫工事見学会＝高校生がアポロ 18 号乗船
・経産省　洋上風力人材育成補助金＝第２次公募で４事業採択
・国総研　東京湾シンポジウム＝10 月 16 日開催

■令和８年 10 月５日号（第 1996 号）
・井林大臣就任会見　３本の重点政策掲げ推進＝安全安心、経済成長、地域づくり
・井林大臣　社会資本と国土強靭化施策＝港湾ロジ、耐震強化岸壁
・副大臣・大臣政務官挨拶
・外貿コンテナ貨物量（主要６港）＝港湾局が毎週公表
・みなとの博物館だより（第 33 回）日本海事センター海事図書館
・横浜港　山下ふ頭再開発事業計画＝審査委員会設置で９年末事業化
・横浜市　中期計画の目標を達成＝超大型コンテナ船着岸数等
・富山県　伏木富山港長期構想策定＝岸壁改良を核に成長と防災
・中部地整　三河港が循環経済拠点港湾＝愛知県に認定証を手交
・名古屋港湾事務所　「白龍」が大雨漂流物回収＝81 立方ｍ、年間の 50％相当額

・室蘭港、苫小牧港　サーキュラーエコノミーポート＝北開局が選定書手交
・四日市港湾事務所　「四日市のみなとを知ろう！」＝小学生が四日市港を見学
・関東地整ら　港湾空港研究セミナー（11 月 11 日開催）
・九州地整　八代港災害復旧へ設計業務＝５件の一括審査で全設計整え
・北九州港　新門司南岸壁ケーソン製作＝９年度には築造工事も予定
・高知港湾　生物共生型港湾効果検討＝カルシア改質の人工石設置
・北九州市　サーキュラーＰ取組推進＝港湾機能活用で拠点化目指す
・高知県の循環資源拠点港湾＝須崎港、宿毛湾港が選定
・中城湾港　サーキュラーエコＰ取組＝金属くず等資源活用進化へ
・広島技調　民間技術説明会開催（10 月６日）
・埋浚協会　七尾港で本部長安全パト＝矢田新岸壁の災害復旧工事
・2026 東京湾大感謝祭　東京湾再生へ「東京湾ダー」＝エキスポにブルーカーボン出展
・東亜建設工業ら　船員安全・労働環境取組大賞＝落水者救援支援システムが最高賞
・国交省　訪日旅客受入促進事業＝クルーズ等 15 事業を採択
・東洋建設　全社合同大規模災害訓練＝南トラ想定、安否確認等
・沖新船舶工業　洋上風力作業員輸送船＝佐世保市で起工式
・ＮＥＤＯ公募　洋上風力発電の導入拡大　地震・海象・気象調査観測技術の開発
・ＳＣＯＰＥ　洋上風力セミナー＝10 月９日、ＷＥＢ開催
・東洋建設　美浦研究所を一般公開＝小学生が最新技術を体験
・東洋建設人事（10 月１日、11 月１日）

■令和８年９月 21 日号（第 1995 号）
・港コン協　第 17 回臨時総会を開催＝災害対応の動き等を報告
・航空局　福岡空港の処理能力向上＝１時間 45 回の早期実現へ
・ブルーカーボンロゴ＝港湾局、使用登録受付開始
・みなとの博物館だより（第 32 回）神戸大学海事博物館
・東京港　10 号地その２多目的埠頭＝フェリー岸壁ＶＡ１調査
・東京港　中防外コンテナ埠頭＝Ｙ３取付部の地盤改良工
・敦賀港　鞠山南地区水深９ｍ岸壁＝地盤改良と縦護岸細部設計
・津軽港　Ｏ＆Ｍ港着工式典＝地域活性化に大きな期待
・津軽港　洋上風力Ｏ＆Ｍ港の整備＝港内陸側に物揚場・用地造成
・石狩湾新港　サーキュラーエコノミーポート＝北開局が選定書交付
・東京港　中央防波堤外側外貿埠頭＝維持浚渫に向けて深浅測量
・釧路港東港区　水深９ｍ泊地浚渫＝釧路川下流域埋塞対策
・金沢港・空事務所　「みなと体験航海」を開催＝わかなⅡで港内クルーズ
・大阪港航路　Ｅレーンの浚渫工手続き＝南港航路との合流水域対象

・境港　ＣＮＰ認証と循環経済港＝認証書・選定証交付式
・広島港　宇品水深 12m岸壁の改良＝鋼管杭の切断撤去、床掘工
・広島空港　リーサ仕上や高盛土対策＝エプロンの予防保全事業も
・九州地整　関門航路開発保全航路整備＝事業評価監視委で継続了承
・関門航路　日明沖海域浚渫を促進中＝南東水道地区で磁気探査
・堺泉北港　汐見沖国際物流ターミナル＝水深 12m泊地浚渫工施工
・近畿地整　和歌山下津港国際物流Ｔ＝事業評価監視委で継続了承
・京都舞鶴港　大野辺緑地で社会実験＝みなとＰＰＰ活用想定
・日建連　海洋安全部会が研修会開催＝走錨事故防止や海象情報等
・ＷＩＮＤ　ＥＸＰＯ秋　幕張メッセで開催＝エネ庁、港湾局が基調講演
・住友重機械工業　浮体式洋上風車で業務提携＝アルバトロス、ＦＡＷＴの早期実用化へ
・日鉄エンジ　北九州市と連携協定締結＝再エネ利用、水素等活用
・東京重機　海外クレーン導入で協業＝洋上風力分野へ進出目指す
・生物育成ブロック「モバブルー」＝ガイアートが環境教育絵本を制作
・ＲＳＯ登録技術⑤　浚渫土固化圧送工法「ＬＭＰ（ランプ）工法」（東洋建設）
・ＭＥＭＰＨＩＳ会　都内で第 31 回講演会開催＝海洋・港湾分野の維持管理
・愛知県　衣浦港・三河港の整備率＝２０２５年度末の目標達成
・留萌港湾事務所　苫前漁港でみなと見学会＝「ゆりかもめ」に園児ら乗船

■令和 8 年 9 月 14 日号（第 1994 号）
・国交省港湾局　重要港湾管理者等主幹課長会議開催＝９年度概算要求、港湾ロジ政策等
・あだちまさしの目（第９回）円安と為替介入
・港湾局　ＰＣａ工法導入マニュアル＝改訂版と事例集を公開
・サイバーポート　危険物関連書類の電子化＝横浜港で初運用開始
・国土強靭化　９年度概算要求額まとめ＝国交省要求額は５兆円超
・国交省港湾局関係人事（９月１日）
・航空局　羽田空港旧整備場再編等＝９年度概算要求、新千歳では鉄道敷設調査
・石狩湾新港　東地区国際物流ターミナル＝岸壁築造と施設用地建設
・能代港　大森地区洋上風力基地港＝12m岸壁増深で施工方策
・関東地整　千葉港コンテナターミナル＝ＣＮＰ認証書交付式
・関東地整　サーキュラーエコノミーポート＝千葉港等に選定書交付式
・名古屋港　飛島ふ頭近辺の施工検討＝金城ふ頭 85 号やＴＳ岸壁等
・名古屋港管理組合　ガーデンふ頭で防災訓練＝大地震想定し防潮扉閉鎖
・小名浜港　新たな長期構想の策定へ＝第４回検討委で最終議論
・関東地整　東京湾大感謝祭 2026（9 月 26 日、27 日開催）
・横浜技調　第 20 回技術交流会（9 月 30 日開催）

・博多港箱崎ふ頭　ＲＯＲＯターミナルの再編＝実施設計、基本設計作業中
・松山港　吉田浜防波堤延伸工事＝基礎築造工事２件手続き
・熊本港　夢咲島の耐震強化岸壁＝８年度実施の地盤改良完了
・八代港　復旧設計方針素案示す＝連続バース活かした復旧検討
・八代港の国管理＝11 月 30 日まで延長
・福山港　箕島水深 12m岸壁整備＝高圧噴射攪拌地盤改良手続き
・平良港　防波堤（下崎北）の改良＝水中コンクリで拡幅・補強
・沖縄振興　令和９年度概算要求＝「GW2050」推進など
・大阪市　市有地をＵＳＪ用地に＝事業者らと協議開始
・ＣＮＰ認証　名古屋港飛島ふ頭南側ＣＴ＝レベル４＋＋＋、遠隔自働ＲＴＧ、ＡＧＶ等
・ＣＰＧ工法研究機構　総会、特別講演会開催＝春日井氏が会長に就任
・足立海事局長　抜本的予算で海運底上げ＝就任後初の記者懇談会
・東洋建設ら　ケーブル埋設技術開発＝ＮＥＤＯ事業に採択
・ＪＦＥエンジ　初の国産モノパイル完成＝秋田市沖洋上風力に納入
・海事局　米国沿岸警備隊から表彰＝クオリティ・シッピング 21
・みなとの博物館だより（31）新上五島町鯨賓館ミュージアム

■令和８年９月７日号（第 1993 号）
・自民党港湾議連　熊本地震の港湾復旧対策＝９年度港湾関係予算確保
・航空局　空港整備４５４５億円＝９年度予算概算要求
・港湾局　サーキュラーエコノミーポート＝全国 29 港を初選定
・みなとの博物館だより（第 30 回）わかちく史料館（若築建設）
・川崎港　扇島地区に高度物流拠点＝川崎市とＪＦＥら連携始動
・石狩湾新港　港湾脱炭素化推進計画案＝管理組合、修正案を了承し、意見募集
・千葉港　千葉中央地区防波堤築造＝静穏度確保へ改めて基本設計
・丘珠空港　滑走路延長事業の環境評価＝方法書への意見募集開始
・留萌港湾事務所　離島で物資輸送訓練実施＝港湾業務艇「ゆりかもめ」
・八戸港　八太郎・河原木航路泊地＝浚渫工事で手続き開始
・横浜港　客船フォトコンテスト＝2026 年作品募集開始
・「川崎港親子見学会」（10 月 13 日開催）＝巡視艇「あおぞら」乗船
・那覇港　新港ふ頭水深 10m岸壁築造＝年度内の岸壁着工目指す
・舞鶴港　和田ふ頭第２バース＝ケーソン据付を公開
・高松空港　ＣＡＴⅢ用地の断面検討＝９年度に基本設計業務予定
・大阪みなとセミナー　東京で開催＝約１００の企業・団体が参加
・８年熊本地震　応急復旧工事の取組進む＝貨物船等受入れふ頭が拡大
・神戸港　航路附帯施設の築造工事＝最終区間の第 10 工区手続き

・三池港　「ブルーアライアンス港」＝阪神国際港湾と覚書締結
・中部地整　西村局長が就任会見＝インフラや地域の魅力向上
・2025 年コンテナ取扱貨物量＝港湾局速報値、2,236 万 TEU、外貿・内貿とも増加
・海事局　９年度予算の概算要求＝前年比 37％増の 144 億円
・東電ＲＰ　銚子市沖洋上風力＝計画段階環境配慮書縦覧
・東洋建設　ウォータージェット式ケーブル埋設システム＝国内初、ＡｉＰ取得
・オイレス工業　仏浮体式で軸受機器採用＝久慈市沖等でも供給狙う
・ＲＳＯ登録技術④　管中混合固化処理技術「プラグマジック工法」＝東亜建設工業
・港湾統計速報（令和８年６月分）

■令和 8 年 8 月 31 日号（第 1992 号）
・令和９年度港湾局関係予算概算要求＝３９４０億円（対前年度１・４８倍）要求
・港湾局　ブルーカーボン活用拡大＝沖合展開、産学官金連携強化等
・港湾局　４コンテナＴをＣＮＰ認証＝名古屋港、大分港、境港、千葉港
・みなとの博物館だより（第 29 回）西宮市貝類館
・川崎港　扇島地区水深 14m岸壁改良＝Ａバースの補修実施設計
・北陸地整　敦賀港鞠山南Ｔ事業継続＝８年度第１回事業評価委
・小名浜港　東港地区第二沖防波堤＝消波ブロック港外側据付工
・中部地整　「清龍丸」が熊本から帰港＝発災直後から被災地を支援
・川崎市　海の月間で外航船見学会＝市内 37 人の子どもが参加
・十勝港　内港地区物流Ｔで浚渫工＝水深 13m・水深 14m航路
・東京港　大井コンテナふ頭強化へ＝２０３５年度の具体像公表
・東京港　ＣＯＮＰＡＳ予約制＝中防外Ｙ３ほか拡大
・８年熊本地震　八代港の災害復旧へ議論＝第１回技術検討委を開催
・神戸港　六甲ＩＬ荷捌き地耐震改良＝深層混合で液状化対策実施
・神戸港　ＰＣ13～17 拡張完了＝日本最大級ＣＴ運用開始へ
・水島港　水深 14m国際バルクＢ＝高耐塩害性のＰＣコンクリ技術
・鹿児島港　臨港道路埋立護岸部＝全体で４割程度まで進捗
・広島港湾　海洋環境整備船係留施設＝浮桟橋の製作工事手続き中
・沿岸センター　中﨑理事長就任の抱負＝港湾等インフラを技術面で支援
・ＮＥＤＯ　次世代浮体式の研究開発＝５件採択、要素技術検証等
・ＪＦＥエンジら　セミサブ式の結合技術開発＝ＮＥＤＯ次世代浮体研究に採択
・神鋼鋼線工業　鋼製ケーブルの係留システム＝光ファイバで運用費低減
・大林組　ＴＬＰ型浮体式洋上風車＝実用化に向けた検討本格化
・太陽工業ら　津波・水害用ドライスーツ＝救助到達までの生存性向上
・白海　稚魚放流イベント開催＝環境学習と担い手育成

・東洋建設　名古屋工大で講演＝ＡＩ時代の土木技術
・東洋建設人事（９月１日）

■令和８年８月 24 日号（第 1991 号）
・洋上風力　浮体式対応の基地港湾＝あり方検討会、効率的な施設規模、利用検討
・港湾局長表彰（国際貢献活動）＝我が国港湾技術の海外展開促進
・国交省人事　中部局長に西村拓氏就任＝航局技術審議官に中原氏
・日本貿易ＤＸ協会発足　港湾局オブザーバー参加＝港湾物流ＤＸ推進に期待
・みなとの博物館だより（第 28 回）神戸海洋博物館
・東北地整　青森港油川地区基地港整備＝８年度第１回事業評価委で継続了承
・秋田県　港湾脱炭素化計画案作成＝秋田港、船川港、能代港
・清水港　新興津地区水深 15m岸壁＝ケーソン据付への床掘工
・四日市港海岸　石原地区Ⅲ工区既設護岸＝改良に向けた実施設計委託
・名古屋港　９年度政府予算への要望＝飛島ふ頭Ｒ２岸壁改良等
・新潟港　西港地区の航路泊地浚渫＝信濃川土砂からの水深確保
・横浜港　本牧ふ頭Ａ４岸壁で実証＝危険物積算船の係留運用へ
・川崎市　扇島地区の用途地域変更＝都市計画審議会で答申
・福井県・敦賀市ら　敦賀港の利用促進＝滋賀県でセミナー開催（10 月５日）
・鹿島港　外港地区南防波堤ケーソン＝１函据付と堤頭部基本設計
・川崎港　東扇島コンテナターミナル＝１号岸壁前面維持浚渫工
・千葉港・木更津港＝特定利用港湾候補に
・九州地整　細島港工業港地区Ｔ事業＝事業評価監視委で継続了承
・和歌山下津港海岸　藤白護岸第３－Ａ区築造＝鋼管杭、ケーソン設置工事
・須崎港　大峰岸壁改良で航路確保＝環境予測や航路浚渫手順等
・中川国総研副所長に聞く＝技術基準の国際展開対応
・ＩＡＰＨら主催　都内で日韓ポートＦ開催＝柴崎東大准教授が基調講演
・東洋建設　「こども特別見学会」開催＝船上東京港体験と学習会
・水産庁　第 59 回漁港漁場分科会＝新たな漁港整備基本方針等
・東亜建設工業　第１四半期決算説明会＝順調推移、通期修正せず
・苫小牧埠頭　ドイツ製機を国内初導入＝飼料荷役が飛躍的に向上

■令和８年８月 10 日・17 日合併号（第 1990 号）
・ＲＳＯ　新複合港湾空間の検討へ＝三大湾に新沖合人工島構想
・あだちまさしの目（第８回）　骨太の方針２０２６
・国交省人事　産業港湾課長に佐々木氏、海・防課長に東平伸氏
・沿岸センター　海洋・港湾構造物維持管理士資格試験＝11 月８日実施

・２０２６年夏季特集　森橋技術参事官「港湾を巡る最近の諸情勢と重点施策」
・国土交通省　こども霞が関見学デー＝加藤政務官が小中学生招く
・ＹＫＩＰ　ベトナムでセミナー開催＝国際基幹航路の維持・拡大
・阪神国際港湾　敦賀港と提携「ブルーアライアンス港」
・四日市港　小川会長ら要望内容説明＝臨港道路など事業化も視野
・八戸市　八戸セミナーを都内で開催＝講演と企業情報交換会
・京浜港湾　７年度事務所長表彰式＝優良工事等３件３名を表彰
・北海道開発局　港湾空港関係功労者等を表彰
・中部地方整備局　優良工事等表彰
・東北地方整備局　優良工事等表彰
・北海道開発局　優良工事等表彰
・八代港　係留施設の一部が被災　令和８年熊本地震、応急復旧で順次暫定供用へ
・姫路港　広畑地区臨港道路下部工＝網干沖線のＰ１橋脚を公告
・徳島小松島港　赤石地区ケーソン２函据付＝クレーン船の設置状況公開
・８年熊本地震　港湾局、被災地支援に全力＝船舶派遣や岸壁利用可否調査
・港湾保安機構　第 23 回通常総会開催＝わが国港湾保安対策に貢献
・海洋土木技術協会　組織整い本格活動開始＝10 年度から基幹技能講習
・海事局　ＬＮＧ船での海外協力等＝稲垣局長７月記者懇談会
・福井県　あわら市沖洋上風力＝船舶航行実態を調査へ
・三河港　テスラＥＶ輸入開始＝神野ふ頭で陸揚げ
・コスモス商事　秋田県沖の洋上風力＝鹿島建設と売買契約
・東京都　離島空港の特定利用検討
・港湾統計速報（８年５月）
・あおみ建設人事（７月 31 日付）
・みなとの博物館だより（第 27 回）ハーバー＆カジキミュージアム

■令和８年８月３日号（第 1989 号）
・ＯＣＤＩ　設立 50 周年講演会・祝賀会＝設立時理念を基に更に発展
・港湾局　浮体式洋上風力の最適施工＝７件の技術開発案件を採択
・港湾局　サイバーポートに新機能＝クルーズ予約機能追加
・みなとの博物館だより（第 26 回）日本海交流センター・帆船海王丸（海王丸パーク）
・四日市港　国交省に要望活動を展開＝霞ヶ浦地区北ふ頭と海岸整備
・伏木富山港　伏木地区防波堤（北）改良＝消波工と作業ヤード整備
・新潟港　東ふ頭地区の岸壁築造＝施工方法など検討業務
・名古屋港管組　中期実施計画２０３０＝長期構想に基づく施策推進
・宮城県　８年度港湾整備促進大会＝仙台塩釜港強化など決議

・山形・庄内空港　第４回機能強化検討会議＝東急等関係者にヒアリング
・北開局　社会資本整備計画を決定＝港湾のネットワーク強化等
・新潟港　東ふ頭地区の岸壁築造＝施工方法など検討業務
・富山県港湾協会＝令和８年度定期総会
・庄内空港と酒田港＝特定利用空港・港湾を検討
・北九州空港　滑走路３千m化への延長事業＝滑走路、誘導路の仕上げ工事
・徳島小松島港　赤石水深 13m岸壁取付護岸＝実施設計業務の手続き中
・長崎港　第２クルーズＢ施工検討＝ケーソン仮置や航路支障対策
・松山港　整備計画検討業務を実施＝高浜岸壁、外港ＲＯＲＯ需要
・細島港　海上への仮設構台設置＝来年度に構台上から地盤改良
・別府港　水深 7.5m岸壁改良工事＝深層混合処理杭１４８４本
・近畿地整　国土交通行政関係功労＝優良工事・業務等を表彰
・四国地整　国土交通行政関係功労＝優良工事・業務等を表彰
・防食・補修工法研　８年度総会・懇親会開催＝鋼構造物の長寿命化に貢献
・ＷＦ協会　８年度マイスター授与式＝新任１名、再任６名の７名
・丸紅ら　山形県遊佐沖洋上風力＝環境影響評価準備書を縦覧
・ＮＥＤＯ　風車生産技術研究開発＝８月下旬実施者公募へ
・鹿島港・空事務所　令和７年度優良工事表彰＝３件４名を事務所長が表彰
・九州地整　国土交通行政関係功労＝優良工事・業務等を表彰
・ジュンテクノ　港湾分野で水中ドローン＝施設点検で利用拡大狙う
・東洋建設人事（７月 31 日、10 日）

■令和８年７月 27 日号（第 1988 号）
・大阪港海岸護岸　今年度に事業化検証調査＝耐震化により重要施設防御
・港湾局　クルーズ船寄港の経済効果＝平均消費額は２・２万円／人
・国交省　海事関係功労者大臣表彰＝港湾関係 23 名が受賞
・港湾局　生産性向上、労働環境改善＝「港湾技術開発制度」公募
・みなとの博物館だより（第 25 回）琴平海洋博物館
・川崎港　東扇島堀込部の埋立護岸＝ケーソン据付で開口部閉鎖へ
・衣浦港　中央ふ頭西地区岸壁改良＝６号施工検討と４号基本設計
・川崎港　海底トンネル換気塔補修＝ダクト壁の断面修復
・敦賀港　福井県が国に支援を要望＝鞠山南地区の整備促進等
・四日市港　次期戦略計画の中間案＝８月 12 日まで意見募集
・東京湾　中央航路の深浅測量＝８年度中ノ瀬航路調査
・横浜港　ＣＯＮＰＡＳ試験運用＝本牧ふ頭で８月に実施
・仙台港・仙台空港　港と空港の視察セミナー＝新規貨物利用へ９月開催

・関東地整優良工事表彰
・海事関係功労者表彰（関東地整局長表彰、東北地整局長表彰）
・大阪港海岸護岸　地震・津波対策で検証調査＝神戸技調が護岸の基本設計
・下関市　第15回全国クルーズ会議＝港を通じ地域振興や活性化
・西之表港　洲之崎地区複合一貫輸送Ｔ＝岸壁部の床掘工事など実施
・徳島小松島港　赤石地区岸壁（２）築造工＝ケーソン２函の暫定供用準備
・和歌山下津港海岸　施工検討業務の手続きへ＝藤白護岸２・３工区、船尾南
・海事関係功労者表彰（近畿・中国・四国・九州地整局長表彰）
・ＲＮ建設　創業１００周年記念祝賀会＝次の１００年への決意示す
・洋上風力合同会議　当面の案件形成の考え方＝３００MW規模の浮体実証を検討
・経産省　大水深等過酷環境下の実証＝都道府県からの情報提供受付
・ＪＢＥら　ブルーカーボンの自然価値＝生態系への貢献を実証へ
・日本沿岸域学会賞　論文賞に小野・赤倉・小川氏＝｛図説　日本の港」出版・文化賞
・東亜建設工業　ＳＢＴの更新認定取得＝30年度に44％ＧＨＧ削減
・ＲＳＯ登録技術③　Ｗ－管混合工法（若築建設）
・チック　無人艇で海底地形を計測＝運用までの一式を提供開始
・全国漁港漁場整備研究会＝９月新潟県佐渡市で開催

■令和8年7月20日号（第1987号）
・朝日参院議員　港を通じ日本経済強化＝未来志向型の港湾整備を
・みなとの博物館だより（第24回）敦賀市立博物館
・団体のトップ人事
・港湾局　みなとＳＤＧｓパートナー＝新たに５者登録
・横浜市　横浜港競争力強化と安全＝９年度予算へ提案・要望
・横浜市港湾局　横浜港脱炭素化協議会＝クラスター計画の策定へ
・石狩湾新港　外貿貨物利用促進協議会＝令和８年度総会を開催
・関東地整　興津港で支援物資輸送訓練＝業務艇「あいりすⅡ」を活用
・落石漁港　昆布盛地区北防波堤築造＝落石地区では泊地浚渫も
・丘珠空港　ターミナルビル基本計画＝30年滑走路延長で新規建設
・東京港　無電柱化整備計画を策定＝22年度電柱ゼロ目指す
・広島港　宇品地区のふ頭再編事業＝水深12m岸壁延長２６０ｍ
・福山港　箕島岸壁の残区間整備へ＝高圧噴射攪拌地盤改良等
・姫路港　臨港道網干沖線の施工計画＝仮設桟橋の工期短縮等検討
・博多港　ブルーカーボンに取組＝カルシア改質土で実証試験
・鹿児島港　臨港道路鴨池中央港区線＝中央径間部の橋梁が完了へ
・川内港　長周期波等対策検討業務＝外郭施設への影響等調査

・和歌山下津港海岸　日方水門取付護岸詳細設計＝水門周辺部の最終区間対応
・航空局　成田空港の機能強化検討会＝30 年目途に段階的整備へ
・Ｊパワー・アルバトロスら　次世代型浮体式風車を設置＝壱岐市海域でＦＡＷＴ実証開始
・海洋・港湾構造物設計士会＝８年度定期総会、研修会開催
・港湾局　札幌でみなと緑地ＰＰＰ＝室蘭港等の取組紹介
・港湾局　シャーシ等の位置管理＝補助事業４件を採択
・大阪府・市　夢洲第２期事業者募集＝約 42ha を売却、二段階審査
・東亜建設工業　海洋資源開発等分野強化＝１日付で研究所組織改編
・日本諸港利用促進港＝松山港を追加（阪神国際港湾）

■令和８年７月 13 日号（第 1986 号）
・港湾空港技術振興会　８年度総会・設立 50 周年＝磯部名誉教授ら招き講演会
・あだちまさしの目（第７回）　静かに止まる社会
・港湾局７月１日発令人事　久田氏が九州地整副局長＝國松京浜港湾事務所長
・港湾分科会　特定港湾施設整備基計案＝７６２億円を了承
・千葉港　千葉中央地区の第１期埋立＝臨海部土地造成事業が始動
・青森県　青森空港長期構想検討委＝来３月策定に向け議論開始
・新千歳空港　Ａ・Ｂ滑走路のＲＥＳＡ＝８年度南側の工事を契約
・羽田空港　旧整備場のエプロン整備＝撤去工やコンクリート舗装等
・和倉港　温泉旅館前の新護岸が概成＝北陸地整が復旧状況を公開
・東京港　オフピークシャトル輸送＝協力企業の募集を開始
・横浜市　水中ドローンの護岸点検＝横浜港で実証実験を実施
・清水港　海の仕事の体験イベント＝「こどもわーく２０２６」
・北九州港　響灘東洋上風力基地機能強化へ＝水深 12m岸壁延長へ設計
・境港外港昭和南　水深 12m物流ターミナル＝今年度から岸壁整備本格化
・三島川之江港　臨港道路の路線検証業務＝物流効率化へ最適ルート検討
・福岡空港　排水管、誘導路改良工事＝改良誘導路はＰＣ版打換等
・長崎港　松ケ枝クルーズ第２Ｂ＝突堤部の堤頭函細部設計
・苅田港湾　浚渫土の有効利用をプロポ＝浅場造成、潜堤活用等検討
・東洋建設　自航式ケーブル敷設船引渡し＝国内最大級「ＤＩＳＣＯＶＥＲＹ」
・東亜建設ら　物流倉庫等のコスト低減＝新たな制振ブレース開発
・海事局　ＬＮＧ船運搬船建造再開へ＝新垣局長６月記者懇談会
・福島県　洋上風力導入可能性調査＝調査結果公表、浮体式 67ＧＷ
・あおみ建設・筑波大学　浅海域の水中音響測位＝ＮＥＤＯ競技会で第２位
・秋田市沖洋上風力　世界初の耐震設計認証＝港湾法技術基準にも適合
・ＲＳＯ登録技術②　五洋建設・管中混合固化処理技術「Pipe Mixing 工法」

・みなとの博物館だより（第 23 回）石川県銭屋五兵衛記念館
・五洋建設人事（７月１日）

■令和８年７月６日号（第 1985 号）
・宮内秀樹衆院議員　港湾は日本発展の成長力＝港湾を軸足に政策展開
・港湾局　港湾運送のセキュリティ＝連絡会を開催、情報共有
・みなとの博物館だより（第 22 回）海とくらしの史料館
・国土交通省港湾局人事（６月 30 日付）
・港湾統計速報（８年４月）
・千葉港　千葉中央地区のふ頭再編＝Ｈ岸壁改良で基本設計業務
・千葉港　千葉中央地区水深９ｍ岸壁＝９年度供用へ最終上部工
・鹿島港　北公共ふ頭水深 13m岸壁＝事業化へＡバースの効果検証
・衣浦港　港湾計画を一部変更＝危険物専用岸壁を追加
・愛知県　洋上風力の検討調査業務＝浮体式実証による影響など
・東京都　９年度国の予算へ提案＝大井再編に向けＹ３財源支援
・細島港　仮設構台設置し、地盤改良＝耐震強化岸壁機能への対応
・細島港工業港区　ＲＯＲＯバース整備が進捗＝岸壁築造（第２次）手続き
・福山港　箕島地区岸壁暫定供用式典＝全体完成に向け事業を促進
・苅田港　新松山地区水深 12m岸壁＝９年度供用開始へ準備進む
・大阪港　港湾計画の一部変更了承＝南港フェリーＴ、夢洲係留施設
・舞鶴漁港　岸壁耐震化、屋根施設等＝水産流通基盤整備事業着手
・近畿みなとの達人　総会開催、議案了承＝８年度活動内容等確認
・港荷協　第 71 回定時総会を開催＝阪神国際港湾木戸社長が講演
・羽田空港　共同溝の強靭化議論＝不同沈下や耐震化対策等
・三河湾みなとオアシス　連携協議会を設立＝３オアシスが平時の交流、災害時連携
・水産庁　漁港漁場分科会で検討開始＝来３月に新規長期計画答申
・ＣＤＭ研究会　第 49 回通常総会を開催＝港湾整備に不可欠な工法
・エネ庁　洋上風力人材育成事業＝８年度補助金の公募開始
・環境省　浮体式洋上風力普及促進＝地産地消型を支援
・国・自治体・経済界ら　九州洋上風力産業推進で連携＝ＳＣ構築、環境整備を加速へ
・ＲＳＯ登録技術①　バージコンソリダーシステム（不動テトラ）
・日本気象　港湾業務などをＤＸ支援＝海象予測の新システム開発